

事前評価個表

整理番号	8
------	---

地域（地区）名	釧路根室地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	白糠町ほか12市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	道、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>釧路根室森林計画区は、北海道の東部にある釧路総合振興局と根室振興局を合わせた地域であり、地形は西部から北部に千島火山帯の阿寒・知床山系が連なり、南部から東部にかけて広大な波状台地が広がっている。</p> <p>本計画区の森林面積は558千haで総土地面積の約59%を占め、そのうち民有林は270千ha（49%）ある。</p> <p>計画区内の民有人工林約72千haのうち38千ha（人工林の53%）が 齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、林業従事者の高齢化や不況等から手入れが不十分な森林が見られるようになってきた。</p> <p>一方、民有カラマツ林約34千haのうち20千ha（59%）が 齢級以上で、伐期を迎える林齢にあるが、近年カラマツ材の需要が急増しているため、一時的に伐採が進み、伐採後造林されない伐採跡地が増加することのないように造林未済地の解消に努めていく。</p> <p>このため、釧路根室地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：39,112ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：1,630m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：8,890,440千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.36 (総便益(B) = 95,574,576千円、総費用(C) = 17,812,338千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 釧路根室

北海道
 (単位: 千円)

水源かん養便益	洪水防止便益	23,990,479	
	流域貯水便益	9,145,056	
	水質浄化便益	15,614,857	
山地保全便益	土砂流出防止便益	37,215,383	
環境保全便益	炭素固定便益	5,289,638	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	11,629	
	木材生産確保・増進便益	4,240,540	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	66,994	
総 便 益 (B)		95,574,576	
総 費 用 (C)		17,812,338	
費用便益比	$B \div C = \frac{95,574,576}{17,812,338} = 5.36$		

森林環境保全整備事業 釧路根室地域（北海道） 概要図

